

大島商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	実験実習
科目基礎情報						
科目番号	0085		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材						
担当教員	櫛田 直規,増山 新二,藤井 雅之,中村 翼					
到達目標						
実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を学ぶ。溶接・仕上げ・旋盤などの工作実習、機械・電気機器操作の基礎およびパソコン基礎を 実験実習を通して学ぶ。 具体的な学習目標は以下の通りである。 (1) 実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できる (2) 実験レポートの作成方法を理解し、実施できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標 1	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できるとともに、詳細に説明できる		実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できる		実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を習得できない	
到達目標 2	実験レポートの作成方法を理解し実施できるとともに、詳細に説明できる		実験レポートの作成方法を理解し、実施できる		実験レポートの作成方法を理解するが、実施できない	
学科の到達目標項目との関係						
本校 (1)-c 電子機械 (3)-a						
教育方法等						
概要	実験実習を通して機械・電気・情報工学の基礎を学ぶ。					
授業の進め方・方法	各班ごとに別れて、工作実習、実験実習を学ぶ。評価方法も実施内容により以下ようになる。 工作実習は実技（70%）＋出席状況・実習態度（30%）、実験実習はレポート内容・提出期限・（50%）＋出席状況・実習態度（50%）とする。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	導入教育			
		2週	アーク溶接実習			
		3週	アーク溶接実習			
		4週	アーク溶接実習			
		5週	ガス溶接実習			
		6週	ガス溶接実習			
		7週	ガス溶接実習			
		8週	仕上げ実習			
	2ndQ	9週	仕上げ実習			
		10週	仕上げ実習			
		11週	旋盤実習			
		12週	旋盤実習			
		13週	旋盤実習			
		14週	レポート作成			
		15週	レポート作成			
		16週				
後期	3rdQ	1週	オームの法則・計測器の使い方			
		2週	オームの法則・計測器の使い方			
		3週	オームの法則・計測器の使い方			
		4週	テスタ製作			
		5週	テスタ製作			
		6週	テスタ製作			
		7週	パワーポイントのスライド作成・発表			
		8週	パワーポイントのスライド作成・発表			
	4thQ	9週	パワーポイントのスライド作成・発表			
		10週	Word・Excelを活用した実験レポート作成			
		11週	Word・Excelを活用した実験レポート作成			
		12週	Word・Excelを活用した実験レポート作成			
		13週	レポート作成			
		14週	レポート作成			
		15週	レポート作成			
		16週				
評価割合						
	レポート	課題・実技	取組姿勢	出席		合計

総合評価割合	25	35	15	25	0	0	100
基礎的能力	0	35	15	0	0	0	50
専門的能力	25	0	0	25	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0